

平成30年度第1回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成30年7月30日（月）13時30分から15時25分まで 富山市役所第4委員会室
委員 （委員数5名） 出席5名	委員長 古田俊吉（富山大学名誉教授） 委員 新畑 彬（元大沢野町助役） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 彼谷 環（富山国際大学教授） 委員 金山睦美（税理士）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成29年10月1日から平成30年3月31日まで
抽出工事 （落札率）	10件（対象工事件数230件） ① 一般競争入札（3件） ・今木橋伸縮継手補修工事（87.91%） ・新水橋幹線配水管布設工事（99.65%） ・富山公共下水道いたち川第2処理分区大町地区人孔蓋改築工事（86.36%） ② 指名競争入札（6件） ・まちなか体験施設附属厩舎新築工事（98.87%） ・29 災 3610-9003 八尾町井栗谷農地・9004 八尾町井栗谷排水路災害復旧工事（98.87%） ・都市基盤河川馬渡川管理用通路整備工事（89.17%） ・市道岩瀬松原町1号線消雪操作盤更新工事（79.72%） ・市営住宅城村団地（321号棟）屋根改修工事（89.97%） ・市道東新町街区2号線側溝補修（その2）工事（88.03%） ・ ③ 随意契約（1件） ・四方漁港航路浚渫災害復旧工事（99.80%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成29年度下半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
①「新水橋幹線配水管布設工事」について、施工場所が立山町と記載されているが、富山市発注の工事として市内の業者を選定した理由は。	①当該橋梁の一部が立山町にあることから施工場所は立山町となっているが、水橋地区に水道水を供給することを目的として本市で施工管理を行ったもの。
②「新水橋幹線配水管布設工事」について、入札に参加する可能性があったのは何者か。	②入札参加資格のある業者のうち、水道管工事の総合点数がAランクの業者は16者あり、そのうち4者が入札に参加した。なお、設計図書を閲覧した業者は12者あったので、大部分が今回の入札に関して興味を示していたと考えている。
③「富山公共下水道いたち川第2処理分区大町地区人口蓋改築工事」について、株式会社南中田建設工業の無効の理由は。	③株式会社南中田建設工業は、調査基準価格を下回る価格で入札していたが、既に開札した案件において低入札価格調査を経て落札者となった経緯があったことから、今回の入札を無効としたもの。
④「富山公共下水道いたち川第2処理分区大町地区人口蓋改築工事」について、入札に参加した業者や調査基準価格を下回った業者が多かったことを鑑みると、競争が激しく、調査基準価格を下回らなければ落札できない状況だったのではないかと思うが、工事内容によるものなのか。	④おそらくそうだと思う。一般的な下水道工事と比べるとリスクが低いということで、受注意欲が高まったのではないかと考えられる。
⑤「市営住宅城村団地（321号棟）屋根改修工事」について、地域を越えて業者を選定した理由は。	⑤屋根改修工事に関して知識や経験があることを重視し、選定したもの。
⑥「市道東新町街区2号線側溝補修（その2）工事」について、2者の辞退理由は。	⑥2者とも、技術者の確保が困難という理由で辞退している。
⑦当該工事が災害復旧工事に該当するという認定はどこでされるのか。	⑦水産庁の査定を受けて、災害復旧工事に認定される。